小学校の読書活動推進への貢献を図る学生ブックソムリエの展開

樺山　敏郎　准教授
(家政学部　児童学科)

プロジェクトの概要

本プロジェクトは、本学家政学部児童学科児童教育専攻の学生（2年次中心）が千代田区立麹町小学校の読書活動の推進に貢献しようとするものである。

実質的には、読書の秋という時機を捉えて同小学校を訪問し、学生がブックソムリエとなって、児童に対して本の紹介や推薦を行う。

1　プロジェクトの目的

児童の読書活動を活性化することは、児童自身の在り方や児童を取り巻くヒト・コト・モノに対する新たな知見を獲得し、これまでの見方や考え方を問い直すとともに、豊かな感性や情操を養うことにつながる。小学校の教員を目指す本学科児童教育の学生が実際に小学校の現場を訪れ、読書のよさや醍醐味を言葉で伝えることにより、その価値や意義を児童と共有する意義は大きい。

2　プロジェクトの内容

読書の秋という時機を捉えて千代田区立麹町小学校を訪問し、学生がブックソムリエとなり、児童に対して本の紹介や推薦を行う。ブックソムリエという用語は、一般化されてはいない。代表者が独自にネーミングしたもので、文字通り、本の紹介・推薦する活動である。単に本の粗筋や感想を伝えるだけでなく、相手とやり取りしながら、紹介・推薦する本の世界に巻き込み、相手が“読んでみたい”と思うように誘う活動である。取り上げる本については、小学校国語科教科書の文学的教材（昔話、民話、伝承、物語、ファンタジー、詩など）が書籍化（絵本化）されたもの、併せて国語科教科書の文学的教材と関連して紹介されている教育的価値が高いとされる本や絵本などを取り上げる。

3　活動の概要

2021年7月1日
☑本プロジェクトの目的や方法、活動の具体についてのガイダンスの実施
2021年7月～10月
☑関連図書の読書活動の展開
2021年8月6日・7日
☑ブックソムリエに係る先進的取組の情報収集（申請代表者）
2021年9月30日
☑ブックソムリエの具体的な進め方についてのガイダンスの実施
2021 年 10 月 21 日
☑ブックソムリエに向けての準備
2021年11月18日
☑千代田区立麹町小学校でブックソムリエ活動の実施
2021年1月
☑本プロジェクトのまとめ

4　活動の実際

2021 年 11 月 18 日　☑千代田区立麹町小学校（第 1、2、3 学年）でブックソムリエ活動の実施


子供の手にはブックメニュー


タブレットを活用して…


粗筋のカードも作って…


ペープサートで子供とやり取り


子供に感想を求める学生


最後に校長先生からエール

5　総括

活動を終えた、学生Ａ（リーダー）の感想である。

今回、本の面白さを伝える難しさ、子どもたちの興味の惹き方の難しさなどを知りました。読んだらそれだけで喜んでくれる子もいますし、始まる前はそういった反応を期待していましたが、実際は読む前から「これ知ってる！」「あっちの本の方が聞きたかった！」という反応が多かったです。特に私は教科書で習った内容だった上、戦争の話で長いので普通に読んだら読み終わりません。実際に読み聞かせてみて、終わらず初めの方は子どもたちにとってかなり退屈な時間になってしまったと思います。後半は全部読むのではなく、挿絵の話をしたり、逆に子どもたちに好きに読んでもらったりしていました。「これ見たことない！」と喜んでくれる子もいたのですが、本の良さを伝えられたのか、という不安と疑問が残っています。今後も子どもたちと関わる機会はあるので、もっとこうしたら良かったな…と思うところに注意して関わってみようと思いました。

小学校の教員を目指す本学科児童教育の学生が実際に小学校の現場を訪れ、読書のよさや醍醐味を言葉で伝えることにより、その価値や意義を児童と共有する意義は大きいものがあった。コロナ禍において児童の学びを保障するという観点から、教科書のみならず本と向き合うことの大切さを実感する機会の提供にもなった。